

- 問1 火山の噴火による降灰の広がり方が季節によって異なる地域において、8月には火口から北西方向の市街地側に、2月には南東方向の海側に多く灰が降る現象が見られます。この背景にある「季節風」と降灰の関係について、正しい記述を選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 冬は南東からの季節風が吹くため、火山灰が火口の南東側に運ばれやすくなる
 2. 夏は北西からの季節風が吹くため、火山灰が火口の南東側に運ばれやすくなる
 3. 冬は北西からの季節風が吹くため、火山灰が火口の北西側に運ばれやすくなる
 4. 夏は南東からの季節風が吹くため、火山灰が火口の北西側に運ばれやすくなる
- 問2 九州地方の工業立地の変化について述べた次の文の空欄に当てはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。「かつての九州の工業は北九州工業地帯などの沿岸部を中心に発展したが、近年は内陸部へと広がっている。特に（①）周辺には（②）の工場が多く立地しており、製品は主に（③）によって各地へ運ばれている。」 (2016年 岡山県公立入試 類似)
1. ① 原料の産地 ② 繊維製品 ③ パイプライン輸送
 2. ① 大規模な港湾 ② セメント ③ 鉄道輸送
 3. ① 鉄道の貨物ターミナル ② 鉄鋼 ③ 船舶輸送
 4. ① 高速道路のインターチェンジ ② 集積回路 (IC) ③ 航空輸送やトラック輸送
- 問3 日本の主な工業地帯・地域を比較した統計資料において、製造品出荷額の総額が約8.5兆円と他の大工業地帯に比べて規模が小さく、産業構成の割合が機械工業約41.1%、金属工業約17.9%、食料品工業約16.5%となっている工業地帯はどこですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 阪神工業地帯
 2. 中京工業地帯
 3. 北九州工業地帯
 4. 京浜工業地帯
- 問4 ある地域に関する統計資料において、人口増減率がプラス〇点四七パーセントを示し、製造品出荷額が他の地域と比較して低い一方で、海面漁業や畜産業の産出額が一定の規模を持つ都道府県はどこですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
1. 鹿児島県
 2. 北海道
 3. 東京都
 4. 沖縄県
- 問5 福岡県の工業出荷額の内訳を、1970年と2010年で比較した際に読み取れる特徴として、正しい記述はどれですか。工業の種類は「鉄鋼・石油などの基礎素材」「自動車・テレビなどの加工組立」「衣食住関連」の3つに分類するものとします。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
1. 2010年時点でも依然として基礎素材製品の出荷額が全体の8割以上を占めており、1970年からの構造変化は見られない。
 2. 1970年には加工組立製品が中心であったが、2010年には資源価格の高騰により基礎素材製品の割合が逆転して上昇した。
 3. 1970年時点では基礎素材製品の割合が大きかったが、2010年には自動車などの加工組立製品の重要性が相対的に高まった。
 4. 1970年から2010年にかけて、出荷額の合計が減少したため、すべての項目において出荷額の実数が減少した。
- 問6 日本の農業に関する2021年の統計において、茨城県の農業産出額は約4263億円でそのうち野菜が35.9%を占めており、宮崎県の農業産出額は約3478億円でそのうち畜産が66.4%を占めています。これらのデータから読み取れる内容として正しいものを選びなさい。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
1. 茨城県は野菜の産出割合が最も高いため、産出額の合計も宮崎県より少ない。
 2. 宮崎県の畜産産出額は、茨城県の野菜産出額よりも多い。
 3. 宮崎県は農業産出額の総額において、全国で最も高い数値を示している。
 4. 茨城県の野菜産出額は、宮崎県の畜産産出額よりも多い。
- 問7 九州地方に位置する宮崎市の気候について、降水量が多くなる背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。地形や風の影響に着目して答えなさい。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
1. 夏季に太平洋から吹き込む湿った季節風が九州山地に遮られ、上昇気流が発生して雨を降らせるため。
 2. 冬季に日本海から吹き込む冷たく湿った季節風が九州山地にぶつかり、雪や雨を降らせるため。
 3. 年間を通して大陸からの乾燥した季節風が吹き込むが、黒潮の影響で雲が発達しやすいため。
 4. 瀬戸内海沿岸と同様に山地に囲まれているため、季節風の影響を受けにくく、年間を通して降水量が少ないため。
- 問8 九州地方の自然環境と火山に関係する地形の説明として、成り立ちや特徴が正しいものはどれか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. カルデラとは、火山から流れ出した溶岩が川をせき止めて作った平坦な土地のことであり、熊本県の中央部に広く分布している。
 2. 火山の爆発や陥没によってできたカルデラは、阿蘇山だけでなく、海面の下に沈んで入り江となった鹿児島湾の一部にも見られる。
 3. 火山灰が厚く積み重なってできたシラス台地は、保水力が非常に高いため、古くから稲作が盛んな地域として利用されてきた。
 4. 阿蘇山周辺に見られる広大なくぼ地は、河川の浸食作用によって数万年かけて削られたもので、九州地方最大の盆地である。
- 問9 鹿児島県などの火山地帯に多く見られる、火山の噴火によって形成された大規模なくぼ地である「カルデラ」の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 噴火の際に出た火山灰が周囲の低地に厚く堆積し、周囲よりも低く見えるようになった地形である。
 2. 火山の周囲を流れる河川の浸食作用によって、山頂付近が大きく削り取られてできた地形である。
 3. 大規模な噴火の際、地下のマグマが排出されたことでできた空洞が崩落してできた地形である。
 4. 地震による断層運動によって地盤が沈み込み、そこに雨水が溜まってできた地形である。
- 問10 福岡県内の主要都市を比較した際、福岡市は県全体の面積割合が約6.9パーセントであるのに対し、人口割合は約31.4パーセントを占めています。このような都市の状況を説明した文として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
1. 広大な面積を活かして人口が分散しており、県内各地で均等な人口割合となっている。
 2. 県全体の面積に占める割合が大きいため、人口が多くても人口密度は低く保たれている。
 3. 県全体の面積に占める割合は小さいが、人口が高度に集中しており、人口密度が極めて高い。
 4. 面積割合に比べて人口割合が低いいため、都市部でも過疎化の問題が顕著になっている。
- 問11 沖縄県は年間降水量が全国的に見ても多い地域ですが、古くから深刻な水不足に悩まされてきました。その自然環境的な理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 山地から海までの距離が近く河川の長さが極端に短いため、降った雨が蓄えられず速やかに海へ流出してしまうから。
 2. 年間を通して日照時間が非常に長く、ダムに蓄えられた水の大部分が蒸発して失われてしまうから。
 3. サンゴ礁が発達している影響で、河川に塩分が混じりやすく飲料水として利用できる水が限られているから。
 4. 地形が平坦で大規模な盆地が多いため、雨水が地表に溜まらずにすぐ地下へ浸透してしまうから。
- 問12 九州地方の南側から東側の沿岸部に沿って北東方向へと流れる強い海流について、この海流は低緯度から北上する「暖流」としての性質を持ち、別名「日本海流」とも呼ばれます。この海流の名称として正しいものを選びなさい。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
1. 対馬海流
 2. 黒潮
 3. 親潮
 4. リマン海流